

コースコード：RH-DO417

税込価格：264,000円 (税抜価格：240,000円)

日数：4日間

前提条件

Windows Server 管理者の経験を有すること、ただし、Red Hat Ansible Automation または Linux® の経験は問いません

受講対象者

管理タスクの自動化と自動化ツールを使用した DevOps ワークフローの実装に関心のある Windows Server 管理者

コース概要

Windows Server での管理を自動化して DevOps ワークフローに組み込めるようにする方法を習得
本コースは、Ansible® の使用経験がない Windows Server
プロフェッショナル向けに設計されています。Ansible を使用して Microsoft Windows
システム用の自動化 Playbook
を作成し、一般的なシステム管理タスクを大規模に、再現可能な方法で実行します。また、Red Hat®
Ansible Tower を使用して、中央の Web ベースのユーザー・インターフェースから Ansible Playbook
を安全に管理および実行する方法を学びます。

このコースは、Red Hat Ansible Engine 2.8、Red Hat Ansible Tower 3.5、Windows Server 2016
および 2019 に基づいています。

目的

Windows IT インフラストラクチャに Red Hat Ansible Automation を効果的に使用することで、運用の
アジリティが向上すると同時に、管理操作に必要なセキュリティ、一貫性、再現性が確保されます。Linux
のトレーニングおよび Red Hat のネットワーク自動化と併せて、単一画面で管理できるクロスプラットフ
ォームの自動化ソリューションが実現可能になります。

Windows 環境で Red Hat Ansible Automation を使用して、Windows
自動化タスクを作成し、実行できるようになります。一般的な管理タスクを実行、Windows
ワークステーションから Ansible プロジェクトを作成、すべての変更履歴を Git
ベースのバージョン管理システムに保存、それらのタスクを Red Hat Ansible Tower の Web
インターフェースから実行およびトラブルシューティングできるようになります。

アウトライン

- Red Hat Ansible Automation の概要
- 簡単な自動化コマンドの実行
- Ansible Playbook の実装
- 変数およびファクトの管理
- ソフトウェアのインストールとアップデート
- タスク制御の実装
- 管理対象ホストへのファイルのデプロイ
- ユーザーおよびドメインとの対話



Windows 自動化タスクの自動化
大規模プロジェクトの管理
Ansible Tower ワークフローの構築

【技術要件】

受講にはインターネット接続が必要です。

個人所有のデバイスを使用します。

デバイスには、リモート・デスクトップ・プロトコル (RDP) をインストールする必要があります。

Microsoft Windows を使用している場合は、Microsoft Remote Desktop
がインストールされている必要があります。

macOS を使用している場合は、App Store から Microsoft Remote Desktop for Mac (Microsoft)
をインストールする必要があります。

Linux を使用している場合は Remmina

を、ディストリビューションからインストールするか、ディストリビューションを利用できない場合は
<https://remmina.org> のインストラクションに従ってインストールします。または、Linux

ディストリビューション (Red Hat Enterprise Linux の freerdp パッケージ内) から FreeRDP
クライアントをインストールすることもできます。